

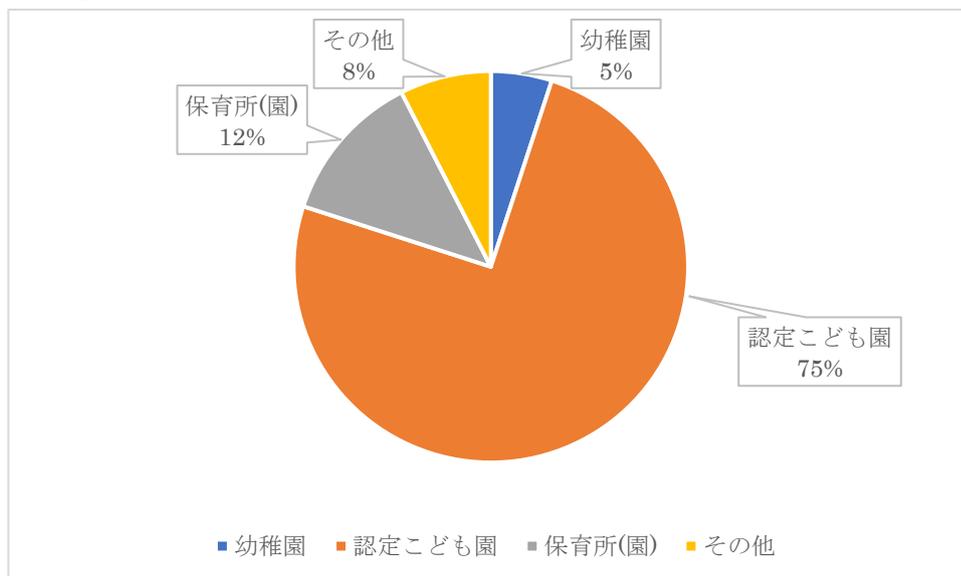
採用側から見た本学卒業生の評価アンケート

1. 調査の概要

実施時期	2024年4月中旬～2024年9月中旬まで
対象	卒業生が就職した事業所(2023年3月卒業生、2024年3月卒業生)
アンケートの目的	<ul style="list-style-type: none">・卒業生および卒業生の就職先からの意見を教育の改善・向上に反映させるため。・就職先との関係を密にし、学生の就職支援につなげるため・就職先との関係を密にし、卒業生の定着支援を行うため
アンケートの方法	・郵送または訪問し状況の把握を行いながら、アンケートを依頼
アンケート配布数	60
アンケート回収数	40
アンケート回収率	66.7%

2. アンケート調査結果

① 就職先種別



就職先種別についての回答は、幼稚園・認定こども園・保育所(園)が92%であった。その他の事業所は障がい児・者施設、児童養護施設であった。

② 採用試験について重視される事柄(複数回答可)



採用試験について重視される一番多い回答は、面接試験である。アンケート結果や自由記述から、「前向きな姿勢・素直さ・意欲がある」等の人柄を重視する傾向がある。

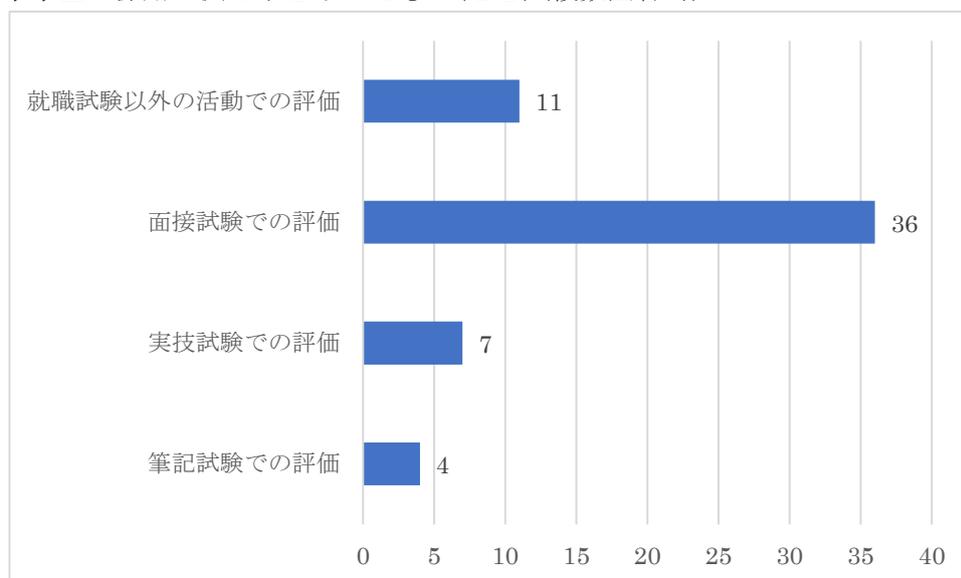
【自由記述】(抜粋)

- ・人間性が一番です。また、筆記試験においては結果よりも取り組む姿勢が大切だと感じています。
- ・筆記試験、実技試験ともに点数は高い方がよいが、それよりも人との関わり、優しさなど人間性がより大切だと考えています。
- ・その方を知り、その方に当園を知って頂くことを大切にしています。そのため、グループ面接や個人面接を行っています
- ・ピアノや絵本の読み聞かせの上手下手ではなく、取り組む姿勢や下準備を見ています。
- ・面接だけではなく、気軽に話す中で人間性を見ています。
- ・面接での人柄を重視しており、真摯に受け答えをしているかという点を評価しています。
- ・最初の挨拶をしっかりと見ています。
- ・試験の日の対話の受け答えや、わからないことを質問できているか、こちらからの質問の内容がきちんと伝わっているか、などを見ています。
- ・人間味があるか、ルールや決まり通りではなく、相手のためにひと手間を惜しまない人を採用したいです。
- ・筆記試験や面接も大事ですが、基本は人柄だと思います。
- ・子どもが好きで仕事にやりがいを持ってくれる人を採用したいと思います。
- ・採用試験では受験者の態度や話し方を主に見ます。
- ・素直で人の話を聞く耳を持っている人、目が輝いている人は先生として上手くやっていけると思います。
- ・笑顔やコミュニケーションについて重視しています。
- ・人柄や、自分も周りも大切に思える優しい気持ちをもっている人を採用したいと思います。
- ・物事に対して前向きに考えられるかを見ます。
- ・採用試験では作文もありますが、最終的には実際に話してみても保育観や意欲、人柄を重視しています。
- ・面接時の人柄や実習での子どもへの接し方を重視します。
- ・やる気があり、元気で前向きに頑張れる方を採用したいと思います。
- ・法人、園の理念をしっかりと伝えたいので志望してくださる方を採用しています。
- ・保育への思いや人間性についても重視します。
- ・ピアノ等の技術面も必要ですが、人と関わる職場としてまずは人柄やコミュニケーション力を重視しています。
- ・点数化できるものよりも子どもの人権に対する意識、自分は何をしたいのか、しなやかさ、傾聴能力等

その人の意識や哲学を重視します。

- ・コミュニケーションをとりやすいか、苦手なことでも頑張れる人かどうか等について評価しています。
- ・一番に見ているのは、面接時の人柄、コミュニケーション能力を見ています。成績は参考程度に考えています。
- ・コミュニケーション能力があるか、人として気持ちよく会話ができるか、顔の表情が豊かであるかなどを見ています。
- ・知識よりも上手にコミュニケーションをとれるかどうか、またそのことを大切に感じているかどうかで見極めたいと思っています。
- ・面接の中で、学生からの発言を重視しています。
- ・筆記試験よりも面接試験を重視しています。
- ・筆記試験は行っておりません。面接等で一般的なコミュニケーションが取れば良いと思っています。
- ・やる気があるかどうかや笑顔、清潔感、礼儀正しさを重視しています。
- ・実技も大切ですが、やはり人間性を重視しています。物腰の柔らかさや表情、言葉づかいなどです。

③ 本学学生の採用の決め手となったもの(こと)(複数回答可)



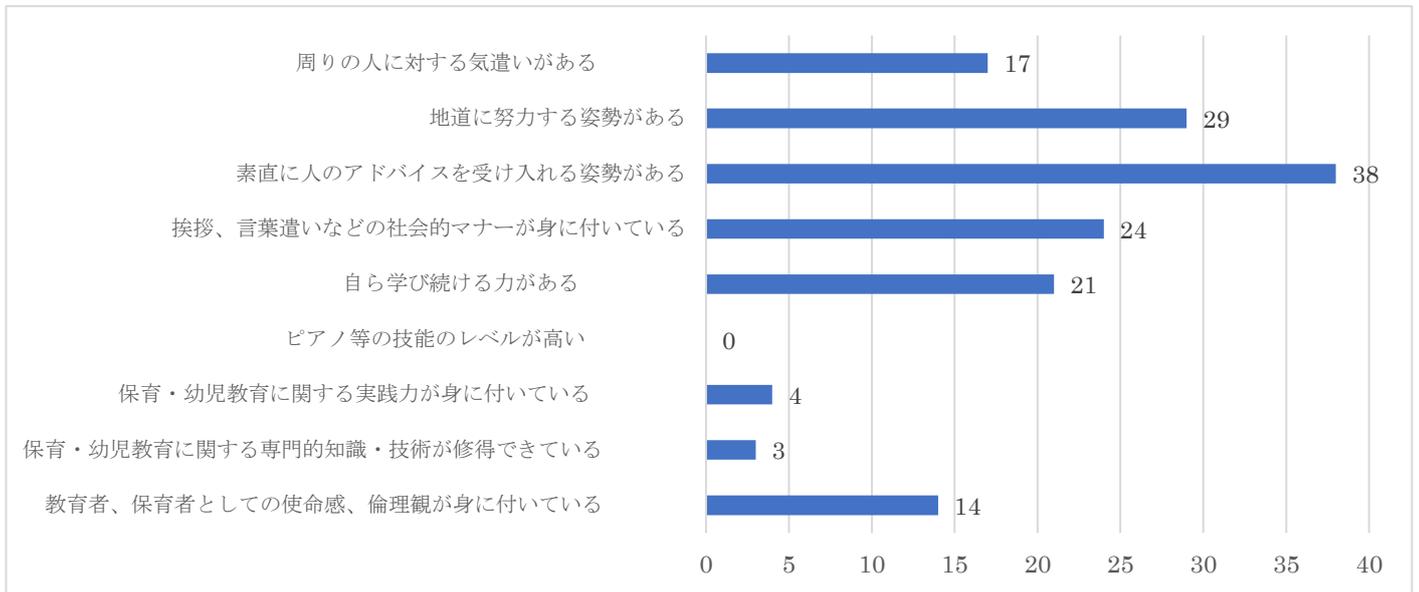
本学学生の採用の決め手で一番多い要因は、面接試験での評価である。自由記述から、本学学生の採用について共通して挙げられるのは、特に面接試験で「真面目さ・努力する姿勢・素直さ・保育士として働く意欲の強さ」などが評価されたことがわかる。

【自由記述】(抜粋)

- ・実技試験(ピアノ)で失敗しても初めからやり直しをしてやり抜こうとする姿勢がありました。
- ・見学に来ていただき、園の特性を理解し、採用試験を受験されたことがわかりました。
- ・就職前からボランティアに来られ、やる気がうかがえました。
- ・自分の考えをはっきり伝えられたことが決め手となりました。
- ・面接時の印象が良かったです。成績や技術は後からでも身に付けることはできますが、その人の内面(性格や態度)はなかなか直すことが出来ないなので面接での印象を大事にしています。
- ・上手に受け答えされていた点良かったと思います。
- ・真面目そうで、しっかり受け答えが出来ていたところが良かったです。

- ・質問に対する返答がしっかりとできていました。また、自分の思っていることを伝えることができていました。
- ・実習での意欲や態度が採用の決め手となりました。担当の先生からの評価も高かったです。
- ・ボランティアでは、表情が豊かで子どもとしっかり対話できていました。また、職員に自分から声をかけ動いていて、人柄の良さが伝わってきました。
- ・実習を通して、向上心があり、目標を持って仲間と切磋琢磨できると感じました。
- ・面接の時の受け答えで、保育の仕事への情熱が伝わりました。
- ・選んで来て頂き、ありがとうという気持ちです。
- ・自ら見学に来られた際の丁寧な受け答えや、実習に真面目に取り組む姿に好感が持てました。
- ・丁寧な言葉遣いや挨拶が決め手となりました。
- ・実習での取り組みを見せてもらい、採用しました。
- ・どんな保育士になりたいのか、自分の思いをしっかりと話されていました。
- ・実習も真面目に取り組み、採用の決め手となりました。
- ・遠方であるにもかかわらず志願し続けてくれ、「この園で頑張りたい」という気持ちが伝わってきました。
- ・別会場での説明会にも時間前に来てくれ、準備力の高さと誠実さを感じました。
- ・面接での受け答えや話し方、話している時の表情、試験後のホッとした時の対話での様子などがよかったです。
- ・実習で真面目に取り組んでいたことが採用の決め手となりました。
- ・面接時のはきはきとした受け答えと明るく元気なところが決め手となりました。
- ・体験時の子どもと関わる際の明るい雰囲気と楽しそうな姿が良かったです。
- ・自分の人生設計について具体的に話せることが素敵だと感じました。
- ・自分の人生をどう生きるのか、そのためにどんな経験を積みたいのかを語れる人は子どもの人権もしっかり尊重してくれると感じました。
- ・穏やかな印象で落ち着いており、笑顔が素敵でした。
- ・実習の時に担当したクラスの担任からの推薦がありました。
- ・複数の面接官の総意により決定します。
- ・数ある施設の中から当園を選んでいただいた理由や今後取り組んでみたいことなど熱い思いを聞かせてもらいました。
- ・当園に実習に来ていただいたことが決め手となりました。
- ・何故当園に興味を持ったのか等実習や見学で感じたことを話してくださったこと、そして、当園の方針に賛同いただいたことが決め手となりました。

④ 採用側から見た本学学生の特徴的な事柄(複数回答可)



本学学生の特徴的な事柄として「素直に人のアドバイスを受け入れる姿勢がある」が最も多く、続いて地道に努力する姿勢や挨拶、言葉遣いなどの社会的マナーが身に付いているなど誠実に仕事に向き合う姿勢について評価が高い。

【自由記述】(抜粋)

- ・採用当初から周囲の様子を幅広く観察し、自分に出来ることがないか役に立とうとしてくれる姿や気遣いがとても嬉しいです。
- ・わからないことは先輩に聞き、一緒に取り組み習得する姿が見られます。
- ・真面目に取り組んでくれています。わからないことも事前に確認して、手順を考えようとしているところが素晴らしいです。
- ・目の前の課題に対して一生懸命取り組んでくれています。
- ・子どもに対して優しく接することが出来ていて、言葉も肯定的です。
- ・わからないことは素直に質問し、アドバイスされたことを真面目に実行できています。
- ・社会人としてマナーはもちろん、保育者として日々努力している姿が見られます。
- ・アドバイスを受けたらすぐに実践しようとする姿があります。
- ・卒業生の方は皆さん他責することなく客観的に自分の立ち位置を認識し、自己研鑽に励んでいると感じます。
- ・悩みながらも向上心をもって一つ一つのハードルを超える方法を考え、実践しています。
- ・感謝の気持ちを言葉にのせて伝えることが出来ていると思います。
- ・自信をもって取り組むというよりも、謙虚な方が多いと思います。
- ・本当に素直で前向きで応援したくなる方だと思います。
- ・とても素直に人の話を聞け、何よりも元気で子ども達にも大人気です。
- ・苦手なことがあっても前向きな気持ちで子ども達と関わってくれています。
- ・素直にアドバイスを受け入れられて、努力する姿勢、学びたいという姿勢があります。
- ・ピアノやエレクトーン等、保育に必要な技術向上に努力する様子があります。
- ・自分の保育を認めてもらえるとわかると更に向上しようと努力する姿が見られます。
- ・大学の授業で作った作品を実践に取り入れ、子ども達を楽しませてあげようとしてくれています。

- ・指導されたことに対して、素直に前向きに行動しています。
- ・子どもや保護者に気持ちを寄せる心があり、職員間でも相手の気持ちをわかろうと努力しています。
- ・挨拶や言葉遣いについて礼儀をわきまえています。
- ・教育者、保育者としての使命感、倫理観について子ども達に愛情を注ぎ可愛がってくれており、保護者に対しても連携をとれていると感じます。
- ・地道にコツコツと積み上げていかなければ子どもたちの人格形成は一朝一夕で成長させることはできないことをよく理解していると思います。
- ・私たちのアドバイスを素直に聞き入れ、改善に努めています。
- ・真面目で誠実です。
- ・責任感があり、決められたことはしっかりとしてくれています。
- ・言葉づかいも丁寧で穏やかな印象です。人当たりがとても良いです。
- ・報告書やノートに少しですが話し言葉が入るのが気になります。
- ・不安やわからないことが多いと思いますが、先輩のアドバイスを素直に聞き、頑張っています。
- ・自主的に学ぼうとする意欲があります。
- ・先輩の先生方のアドバイスや意見を聞く力があります。
- ・素直な心でアドバイスを受け入れ、努力する姿が見られます。
- ・子ども達と積極的に関わり子ども達の気持ちを汲み取ろうと努力されています。
- ・仕事でわからないことは、色々な先生の話しを聞いて頑張ってくれています。
- ・わからないことは自分から聞き、覚えようと努力しています。
- ・人のアドバイスを素直に聞いています。
- ・ピアノが苦手だと聞いていましたが、入職後は時間を見つけてピアノの練習をしています。
- ・非常に頼りになる先生になってくれています。
- ・何事にも一生懸命でわからないことも学ぼうとする姿が見られます。
- ・真面目な性格で「やります」、「大丈夫です」と前向きな姿勢があります。
- ・千代田の卒業生は一生懸命で、心の優しい子どもが大好きな先生ばかりです。
- ・新しい仕事にも積極的に関わり自分から気付いて動くことが出来ています。
- ・保護者の方に対しても真摯な対応で、誠実さをわかってもらえています。
- ・育休、産休を取って長く働いてくれています。一段と磨きがかかっています。
- ・はきはきとした言葉づかいに好感が持てます。また、話しを聞き理解しようとする姿勢が見られ、子どもの話しを上手に聞いて寄り添える人だと思います。
- ・挨拶は、すべてのことにおいて基本となります。一番に出来ていると感じています。
- ・意欲的に業務に取り組んでくれています。
- ・挨拶やマナーはできており、また純粋でこれから頑張っていきたいという思いが伝わってきます。
- ・ご本人が不安な点もあるかと思いますが、施設全体でサポートしていきたいと思います。
- ・先輩のアドバイスを聞きながら一生懸命に保育をされています。
- ・カリキュラムや保育環境など、常に学び、興味関心を持ってくださっています。
- ・園内、園外の研修に積極的に参加する姿が見られます。
- ・上司や先輩、保護者に対して丁寧な言葉を使うように日頃から気をつけられています。
- ・自ら進んで大変な仕事も率先して進めていく姿があります。
- ・先輩からの助言を素直に聞き入れ、次に繋げていくように努力されています。
- ・目の前の課題に対して一生懸命取り組んでくれています。
- ・子どもに対して優しく接することが出来ていて、言葉も肯定的です。
- ・職員間や保護者に対しても丁寧に話し、周りから好感を持たれています。
- ・根気と負けん気があり、メンタルの強さがあると感じます。
- ・言葉遣いなど、まだぎこちなさはありますが、指導を真摯に受け止め、頑張っています。

3. 調査結果を踏まえた考察

- ・採用側の観点や自由記述から、卒業（就業）時点の知識・技術が未熟であっても、採用側が「手をかけて育てていきたい」と思わせるような人材を輩出しているということが言える。
- ・特に本学学生の採用の決め手となったもの（こと）や採用後の特徴を見ると、「真面目さ・努力する姿勢・丁寧な仕事への取組み姿勢」の回答数が多いことから、少人数教育の中で、学生の学業や生活面での一つ一つ言動や取組み姿勢について、真面目に努力を重ねることや丁寧な対応の大切さを常に伝えていることの表れであると評価できる。少人数教育の強みを生かして、上記の取組みを継続していく。
- ・採用側の観点や自由記述から、本学学生について共通して挙げられるのは、専門知識や技術よりも「人間力」への評価である。これは、本学の「人間教育」の成果であり、今後もさらに、その力を伸ばせるようにすることが大切である。
- ・一方、知識・技術が未熟であることを示唆しているとも考えられる。本学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）^{*1}と照らし合わせると、「1) 子どもの保育・教育に対する情熱・使命感・責任感を身につけている。」「4) 子どもとその家族を始めとする人権を尊重する心と術を身につけている。」は一定程度達成できている、「3) 課題探究能力を持ち、自ら解決しようとする姿勢を身につけている。」は限定的だが達成できており、今後もこれらの能力を一層伸ばしていくような教育活動を継続していく必要がある。一方、「2) 保育・幼児教育に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身につけている。」は不十分な点が多いと考えられ、新たな教育方法の開発や工夫が必要だと言える。

*1 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

幼児教育科では、人間の生涯発達の視点から、子ども・障害者の教育や福祉支援に関する学習により、専門的知識・技術及び倫理観を身につけ、幼稚園教諭・保育士・保育教諭を始めとする教育・福祉専門職として活躍できる人材の養成を目的として、以下の能力を有するに至った者に短期大学士の学位を授与する。

- 1) 子どもの保育・教育に対する情熱・使命感・責任感を身につけている。
- 2) 保育・幼児教育に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身につけている。
- 3) 課題探究能力を持ち、自ら解決しようとする姿勢を身につけている。
- 4) 子どもとその家族を始めとする人権を尊重する心と術を身につけている。